

## 平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立菟田野小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校運営に保護者・地域の力を借り、協働して「地域と共にある学校づくり」を推進する。

## 2 取組の概要

## 1 地域ボランティアによる学習支援

## (1) ボランティア絆の会

14名の方々が、校区内で以前から様々な活動をしておられ、その活動の中に、今年度から学校での授業支援を加えていただいた。

## ① 家庭科で初めての手縫いを支援する

5年生の家庭科の学習で、初めて手縫いに挑戦することになった。針に糸を通す、玉結び、玉どめなど、手縫いの第一歩の学習をボランティアの方々が支援してくださった。



## ② 昔の遊びを教えてもらう

1年生の生活科で、昔の遊びをすること初めて裁縫に挑戦する児童を支援になり、高齢者の方々が子どもの頃に遊んだコマ回しやお手玉、けん玉などを教えてもらい、共に楽しんだ。この後、1年生とボランティアの方々が一緒に給食を食べ、互いに交流することができて好評であった。

## ③ 抹茶をいただきながら、礼儀作法を学ぶ



正座してお茶をいただく

1年生の課外の学習で、礼儀作法を学習する際に、ボランティアの方々に来ていただいた。お茶をたてる、相手に運ぶ、お礼を言う、正座してお茶をいただく、などの活動を教えていただいた。

## (2) その他

上記のほかにも、学校の環境美化のため草引きをしてくれるグループや、読み聞かせを毎学期行ってくれるグループが、学校運営に協力してくださった。

## 2 「ふれあい学習」を通じた放課後の人権学習

### (1) 「ふれあい学習」の概要

第1～6学年の全校生に放課後の人権学習への参加を呼びかけ、今年も58名の児童が参加した。月曜の放課後に、学校の家庭科室に集まり、年間10回の学習を行った。

### (2) 活動のねらい

- 全学年で縦割り班をつくり、学年をこえた交流を図る。
- 菟田野で有名な毛皮革産業を知り、名人と出会う。
- 障がいについて理解を深めるために、話を聞くなどの体験活動を行う。

### (3) 主な活動内容

#### ① 聴覚障がいについて理解を深めよう（5月・1回）

市内の手話グループの方々に来校いただき、聴覚障がいのある方から、普段の生活の中で困っていることや、うれしかったことなどを聞かせてもらった。また、後半には簡単な手話を教えていただいた。

#### ② 人権フェスティバルで発表しよう（6～10月・5回）

「花は咲く」の手話歌を菟田野人権フェスティバルでの発表に向けて、参加者全員で練習した。休み時間を利用して練習することもあった。

#### ③ 毛皮のはぎれで小物をつくろう（10～11月・2回）

校区内の毛皮革工場団地内で、普段は捨てられる毛皮のはぎれをいただき、コサージュを作った。1枚の皮でも、厚かったり薄かったりする部分があり、動物の命を感じる事ができた。

#### ④ 視覚障がいについて理解を深めよう（2月・2回）

本校教員が講師を務め、過去に担任した児童の障がいについて話してもらったり、実際に点字をさわったり、打ったりする学習をした。



聴覚障がいのお話を聞く



講師を囲んで手話を学ぶ



発表に向けてみんなで練習



点字をさわる、点字を学ぶ



縦割り班でのポスター作り